

平成29年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 大樹町商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 平成30年 3月22日(木) 10時00分
3. 開催場所 大樹町経済センター 3階会議室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 大樹町企画商工課 課長 黒川 豊
大樹町観光協会 会長 高橋 英昭
帯広信用金庫大樹支店 支店長 清水 豊
 - (2) 商工会 会長 三浦 祥嗣
副会長 砂田 正好
総務企画委員長 堀川 俊明
同 副委員長 菊池 功
同 委員 加藤 康浩
事務局長 廣瀬 庄治
経営指導員 斉藤 秀則

欠席者 外部有識者：北海道商工会連合会十勝支所長 星 圭司
商工会：副会長 田中 正一、総務企画委員 田中ひとみ

5. 内容
定刻となり、事務局が開会を宣し、三浦委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について

事務局は、平成27年12月25日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の概要説明を行った。

(2) 平成29年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

平成29年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は別紙事業評価シートのとおり。

(3) 平成30年度事業計画及び予算について

事務局は別紙事業評価シートに基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成30年度の事業の実施を計画している旨の説明を行った。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

(清水委員) 民間ロケットの打上げ実験による集客を商工業者は商機に変えられないものか？商工会としての体制づくりを進めてはどうか。

(会長) 商工業者を含めた町民全体で来町者を歓迎する雰囲気づくりは大切と感じている、店舗等に来町を歓迎する張り紙や旗を設置するなどの方法を検討してみたい。商工業者にとってはビジネス機会の好機であることから積極的に取組んでいきたい。

(事務局) 基本計画にある、「地域経済の活性化に資する取組み」として本支援事業により推進していきたい。

(砂田委員) 食料品のネット購入や通販の市場は約6兆円との報道であるが、当町での流出額はどのくらいなのか、また調査するとしたらどのような方法がありますか？

(事務局) 全世帯への消費動向アンケート調査が有効であると思われま。しかし、回答率の低下や回答者属性の偏りにより集計結果に影響が現れます。本支援事業により需要動向について調査分析を行い情報として提供していきたい。

(黒川委員) 町の起業家支援助成金等を積極的に活用してほしい、また空き店舗などの情報は共有していきたい。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。時に11時30分